

令和3年度第2回川越市立学校給食センター運営委員会 (書面会議) 会議結果の概要

(書面会議とした理由)

会議開催予定日が、新型コロナウイルス感染症が拡大し、本県が「まん延防止等重点措置」の対象期間となった。

多くの学校で学級閉鎖等が行われており、本市においても、感染症拡大防止に努めていることを踏まえ、本委員会の会議形式を書面によることとし、各委員から議題に対する意見聴取を行った。

(会議結果)

議題1 令和4年度学校給食業務事業計画について

- 原案通り、承認された。

議題2 その他(自由記述)

- 給食のメニューの組み合わせが固定化されているように感じるため、毎日の給食が楽しみになるように見直してほしい。
- フードロスを減らすため、残菜量の傾向から献立の工夫が出来ないか。ふりかけ等があると、ご飯の食べ残しが減るため、出来るだけ出してほしい。
- 学級閉鎖時1日目におけるご飯・パン・牛乳の大量廃棄について、子ども食堂など必要なところと契約するなどの対応は出来ないか。
- 子どもが授業の一環として、給食すごろくや給食かるたを作っている。このように、友達と同じものを食べる給食の大切さを、授業を通じて学べる機会があると良いと感じる。
- テレビで色々なものが値上げしているが、学校給食への影響はないのか。値上げによって学校給食時の未収額が更に増えてしまう恐れがあるため、予め影響が分かるのであれば、早期の収納対策が必要と考える。未収によって給食の内容に影響が出ると困る。
- 心身ともによい給食の提供を引き続きお願いしたい。
- 子どもや保護者への直接的な働きかけはもちろん、学校での担任教諭の考え方や働きかけが重要になるため、そこに繋がる食育を計画的に実施して欲しい。